第２回「とるぱ」フォトコンテスト入賞作品決定
投稿写真タイトル“岡城”が、グランプリ受賞！！

◆第２回「とるぱ」[注1)]フォトコンテストを開催し、入賞作品を決定しました。
　募集期間：平成１７年３月１日～平成１８年２月２８日
　実施主体：九州地方整備局、道守九州会議[注2)]の共催

◆ドライブの途中で見つけた美しい景色、地域の自慢したい景色、地元の人だけが知っているすてきな景色などの情報と近くの駐車場情報をお寄せいただくものです。

◆その結果、全九州で写真枚数３５９枚（１７０駐車場）の「とるぱ」の投稿がありました。（別紙参照）

◆審査の結果、以下の作品が選ばれました。※投稿作品の詳細は別紙
グランプリ：投稿写真タイトル「岡城」

優　秀　賞　：	〃	「蛇淵（じゃぶち）の滝（春）」
（３作品）	〃	「由布川峡谷」
	〃	「早春の池田湖」
特　別　賞　：	〃	「博多湾暮色」
（７作品）	〃	「金立公園の古墳と桜」
	〃	「長崎港の風景」
	〃	「こんぺきの海」
	〃	「氷華」
	〃	「水のカーテン」
	〃	「高千穂の雲海」
道の駅賞：	〃	「実りの秋　水に感謝」
（２作品）	〃	「唄げんか大橋」

◆コンテストの投稿作品と、その駐車場情報など詳しくは、「とるぱ」ホームページで公開しています。道路管理者は今回投稿された「とるぱ」を含め順次「とるぱ」標識類を現地に設置していきます。

これらの「とるぱ」の情報については
九州版ホームページ　http://kyusyu.torupa.jp/
九州版携帯電話ホームページ
http://www.torupa.com/mobile/index.php
を参照下さい。

問い合わせ先

◆九州地方整備局　道路部　道路調査官　奥村　康博
代表０９２－４７１－６３３１（内線４１１３）
道路計画第二課長　品川　俊介
代表０９２－４７１－６３３１（内線４２５１）
直通０９２－４７６－３５３０

＜フォトコンテスト内容及び審査内容など＞

○写真家の東島治男氏が審査委員長を務め、総勢17名の審査員の方々に選定して頂きました。審査は、「とるぱ」の基準を満たした投稿作品から、写真の技術力や九州の美しさが感じられるかなどのテーマ性などを基準に行われました。

【審査委員】（別紙名簿）

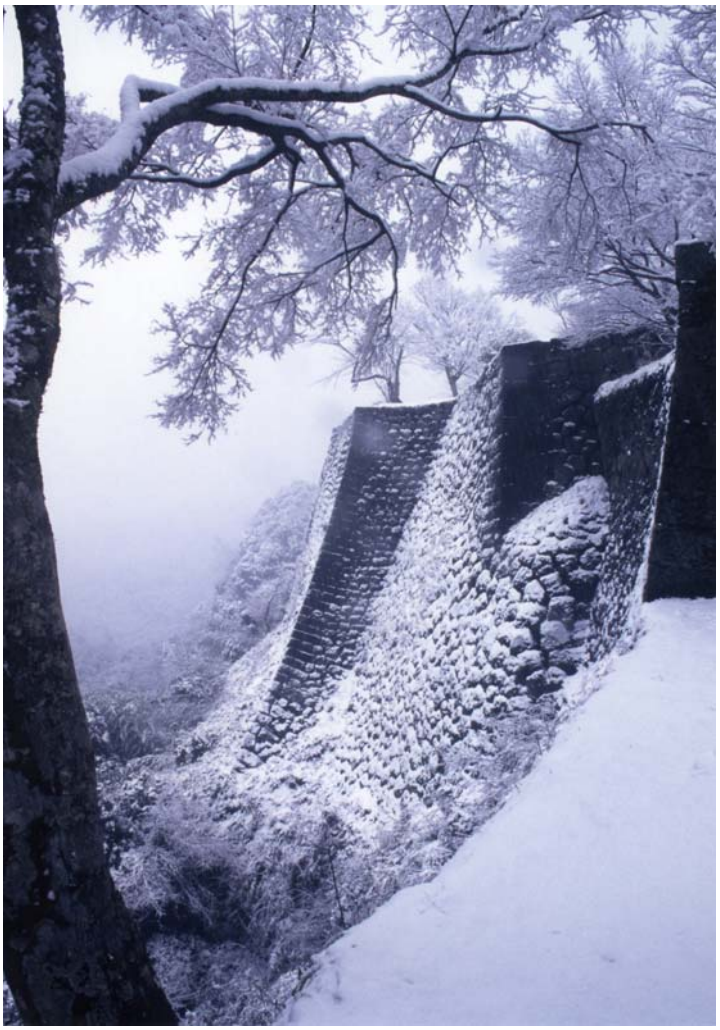
【入賞作品】

賞の種類	氏名	とるぱ所在地	投稿写真タイトル
グランプリ	猪野　一男	大分県竹田市	岡城
優秀賞	三浦　誠	福岡県京都郡	蛇淵の滝（春）
	坂下　裕幸	鹿児島県指宿市	早春の池田湖
	岡本　芳生	大分県由布市	由布川峡谷
特物賞	長　吉秀	福岡県福岡市	博多湾暮色
	丸山　徳子	佐賀県佐賀市	金立公園の古墳と桜
	鳥越　英次郎	長崎県長崎市	長崎港の風景
	高山　伊勢吉	長崎県佐世保市	こんぺきの海
	田中　務	熊本県阿蘇市	氷華
	斉田　英二	熊本県阿蘇郡	水のカーテン
	大山　義広	宮崎県西臼杵郡	高千穂の雲海
道の駅賞	田中　務	熊本県上益城郡 道の駅「通潤橋」	実りの秋　水に感謝
	田辺　紀子	大分県佐伯市 道の駅「宇目」	唄げんか大橋

－－－

グランプリ受賞作品

投稿写真タイトル“岡城”



撮影場所	大分県竹田市竹田2765
お勧め時期	春の桜か秋の紅葉の時期
撮影者	猪野　一男
撮影者のコメント	難攻不落の山城として有名な岡城は、風が強く、周囲の樹木や石垣に着雪することが少なく、このような風景に出逢えて最高でした。

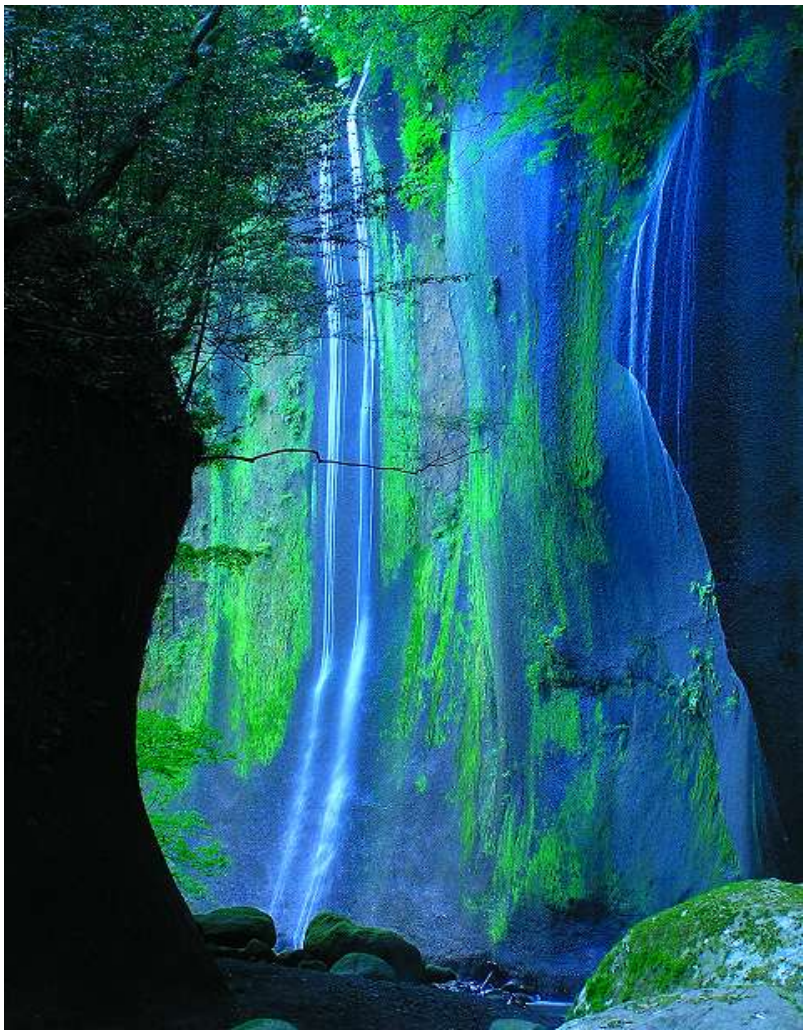
優秀賞受賞作品

投稿写真タイトル“蛇淵の滝（春）”

撮影場所	福岡県京都郡犀川町帆柱
お勧め時期	春、秋
撮影者	三浦　誠
撮影者のコメント	降雨で水量の多い日がねらい時、吊橋上での撮影の為ブレに注意が必要、又近くの里山風景の撮影も楽しめます。

優秀賞受賞作品

投稿写真タイトル“由布川峡谷”



撮影場所	大分県由布市挾間町内成
お勧め時期	冬
撮影者	岡本　芳生
撮影者のコメント	季節折々の水の流れ、色んな顔を見せてくれる峡谷です。

優秀賞受賞作品

投稿写真タイトル“早春の池田湖”

撮影場所	鹿児島県指宿市池田湖
お勧め時期	菜の花が咲く1月いっぱい
撮影者	坂下　裕幸
撮影者のコメント	この時期は、池田湖から開聞岳を背景にしての撮影は逆光状態での撮影となるので注意。画面に人物が入った方が、写真としては味が出るような感じ。

特別賞受賞作品

投稿写真タイトル“博多湾暮色”

撮影場所	福岡市東区志賀島潮見
お勧め時期	夜明け前、日没後
撮影者	長　吉秀
撮影者のコメント	夜明け前、日没後はどんな色になるかわからないので、露出を変えて何枚か撮ってみました。

投稿写真タイトル“金立公園の古墳と桜”

撮影場所	佐賀市金立町金立
お勧め時期	4月頃
撮影者	丸山　徳子
撮影者のコメント	桜が5000本あり。4月頃がいいようです。

投稿写真タイトル“長崎港の風景”

撮影場所	長崎市戸町５丁目
お勧め時期	通年
撮影者	鳥越　英次郎
撮影者のコメント	1年中、船の出入港や夕日などいろいろな風景が撮れる。

投稿写真タイトル“こんぺきの海”

撮影場所	長崎県佐世保市船越
お勧め時期	11月～3月
撮影者	高山　伊勢吉
撮影者のコメント	とるぱさんのホームページを見て、初めてここに行きました。あまりのきれいさについ夢中でシャッターを切りました。

特別賞受賞作品

投稿写真タイトル“氷華”

撮影場所　熊本県阿蘇市一の宮町坂梨
お勧め時期　1月から2月の寒波襲来の時
撮影者　田中　務
撮影者のコメント　氷結した氷がややゆるむ午後3時ごろが良い。遅れると氷が落ちる。望遠レンズ必携。滝の真下より100mほど離れて840mmの望遠レンズで撮影。

投稿写真タイトル“水のカーテン”

撮影場所　熊本県阿蘇郡小国町
お勧め時期　11月初旬は紅葉する
撮影者　斉田　英二
撮影者のコメント　夕方の方が光の具合がよい。色々な角度から撮れる。

投稿写真タイトル“高千穂の雲海”

撮影場所　宮崎県西臼杵郡高千穂町
お勧め時期　9月中旬～10月中旬が見れる確率高い
撮影者　大山　義広
撮影者のコメント　さすが神話の里スケールの大きい風景です　この風景が駐車場から見れる事に大変驚きました。朝は、冷えこむので上着必要です。

道の駅賞受賞作品

投稿写真タイトル“実りの秋　水に感謝”
道の駅「通潤橋」

撮影場所	熊本県上益城郡山都町
お勧め時期	稲の収穫期
撮影者	田中　務
撮影者のコメント	通潤橋は、熊本県央に位置し、歴史的な重要な遺産であります。この橋を中心に広がる風光明媚な田園風景は秀逸であり、四季折々にはいろいろな彩りの表情を見せてくれ、訪れる人々の心を潤してくれます。隣接する五老ヶ滝とともに絶景の撮影スポットです。

投稿写真タイトル“唄げんか大橋”
道の駅「宇目」

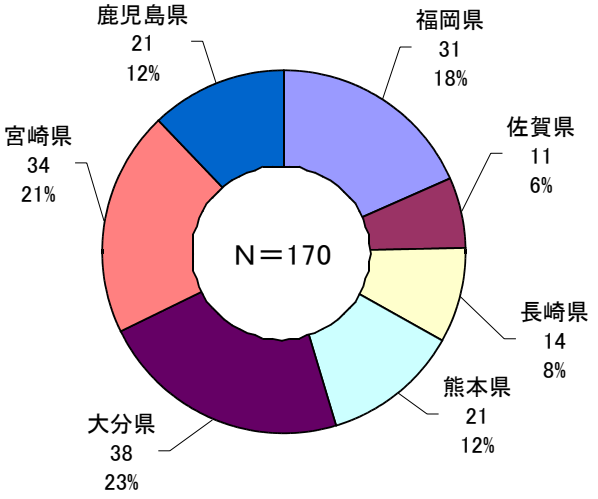
撮影場所	大分県佐伯市宇目町北川ダム
お勧め時期	四季折々素晴らしい風景が楽しめます。
撮影者	田辺　紀子
撮影者のコメント	大分県と宮崎県の県境近くのダム湖にかかる橋で、「宇目の唄げんか」という民謡にちなんで名付けられた美しい斜張橋です。雨上がりの霧の時がロマンチックです。

投稿概要

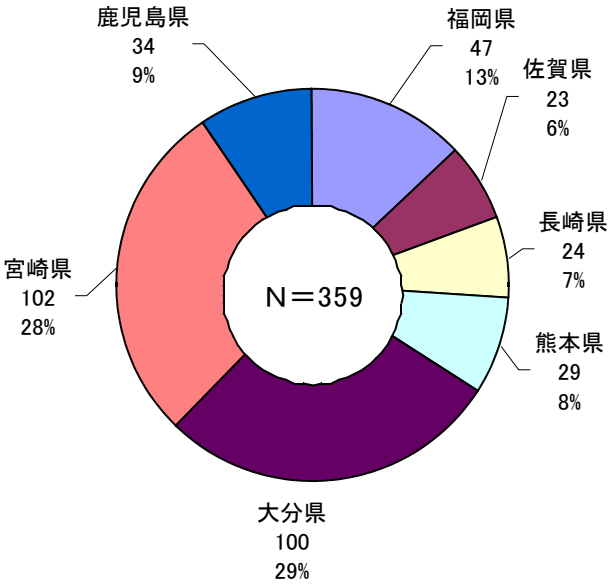
九州全体で１７０箇所、写真枚数３５９枚もの多くの投稿がありました。海、山などの自然景観の投稿が約８割と多く、次いで橋などの構造物が約１割、文化財などの写真も約１割投稿されています。中には観光地以外のあまり知られていないスポットなども数多く投稿されています。

とるぱ（駐車場）投稿数　　１７０箇所
写真投稿数　　３５９枚

県別応募とるぱ数（箇所）



県別応募写真数（枚）



◆第２回とるぱフォトコンテスト審査委員名簿

氏　名	所　属	備　考
東島（ひがしじま）　治男（はるお）	（社）日本広告写真家協会九州支部	審査委員長
松尾（まつお）　芳彦（よしひこ）	西日本写真協会、福岡県・市美術協会	審査副委員長
長谷川（はせがわ）　和芳（かずよし）	（株）角川書店　九州ウォーカー編集部	
太田（おおた）　英嗣（ひでつぐ）	（株）ゼンリン福岡支社	
石田（いしだ）　稔（みのる）	（財）日本デジタル道路地図協会	
森（もり）　博史（ひろし）	九州・沖縄「道の駅」連絡会	
山田（やまだ）　三代子（みよこ）	道守ふくおか会議	
佐伯（さえき）　毅（つよし）	道守ふくおか会議	
白石（しらいし）　道雄（みちお）	道守ふくおか会議	
三原（みはら）　ユキ江（ゆきえ）	道守佐賀会議	
阿野（あの）　史子（ふみこ）	道守長崎会議	
川野（かわの）　由紀子（ゆきこ）	道守くまもと会議	
日高（ひだか）　晃（あきら）	道守宮崎会議	
田島（たじま）　直美（なおみ）	道守かごしま会議	
篠原（しのはら）　秀和（ひでかず）	熊本県福岡事務所	
吉崎（よしざき）　収（おさむ）	九州地方整備局	
森（もり）　将彦（まさひこ）	道守九州会議　事務局長	

◆審査委員長の総評

　第２回フォトコンテストへの総投稿数は、第１回よりも多少減少しましたけれど、全体の内容はハイクオリティーな作品が多くなったなァと実感しました。
　入賞者も常連の方が出て来られましたし、「とるぱ」も全国展開となりましたので、先行の九州としましては、他エリアの手本となる様により良い内容の充実をはかりたいものです。